



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1. 校外のイベントへの参加

##### ① アジア・オセアニア高校生フォーラム in 和歌山に生徒1名が参加

和歌山県教育委員が主催している、20の国と地域の高校生が3日間にわたり世界規模の問題について話し合うフォーラムに、本校生徒1名と職員1名が参加。

日時 平成28年7月30日(土)～8月3日(火)

派遣先 和歌山県県民会館

参加校 海外20カ国、和歌山県下10校、県外5校、

内容 環境・防災・テクノロジー・観光・国際関係に関する諸問題を提起し、高校生としてそれらの問題をどう考えるかについて発表する。



##### ② 「トビタテ! 留学 JAPAN」 を利用し生徒1名が2ヶ月間の短期留学

日程 平成28年7月～9月

内容 官民共同で留学を支援する給付型奨学金を利用してオーストラリアに留学し、2ヶ月間のホームステイと現地校にて授業を受けた。



③『SDGs フォーラム』 拓殖大学

日時 平成 28 年 12 月 3 日 (土)

主催 拓殖大学

参加校 都内、千葉県内の高等学校、JICA、ユネスコスクール関係者総勢 50 名

内容 Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)フォーラムでは、ユネスコスクールとしての取り組みや留学体験について、10 分間のプレゼンテーション、拓殖大学の大学生や教員とともにグループディスカッションを行った。



④ スーパーグローバルハイスクール『高校生国際ミニフォーラム』視察

日時 平成 28 年 9 月 17 日 (土)

主催 渋谷教育学園幕張高等学校

内容 職員 1 名が視察のために訪問した。フォーラムでは、渋谷教育学園幕張・渋谷高校の生徒の皆さんと中国、シンガポールの高校生がそれぞれプレゼンテーションを行い、全体会のあとは分科会で交流を図りながら、「食」に関する諸問題を話し合った。

## 2. 校内の活動

### □ESD 活動

□①書き損じはがき回収運動 合計 1 8 7 枚の寄付

### ②文化祭でのユネスコ活動 「聞かせて!あなたの思う国際問題」

7 月 2 日 (土) 3 日 (日)、幅広い年代を対象とした国際問題についてのアンケートと討論会を開催し、生徒がファシリテーターとして、年代や性別を超えて国際問題について話し合った。



③ 「フェアトレード」「日本文化」について2チームに分かれての調べ学習

### 日本の文化について！

・外国の方が興味を持っている日本文化について調べました。

◇雑貨類

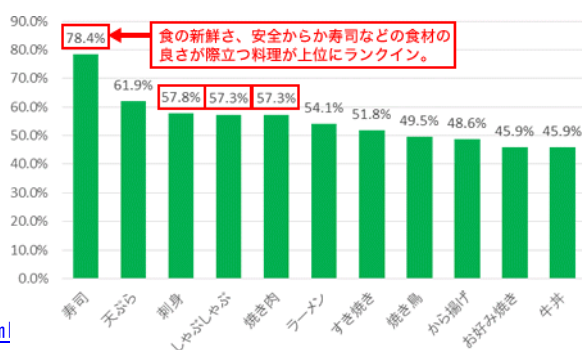
- ・毛玉取り
- ・ペン（クルトガなど高性能のもの）
- ・ビリビリペン
- ・マスキングテープ
- ・折り紙
- ・貯金箱
- ・電子辞書

◇漫画・アニメ

- ・ワンピース
- ・進撃の巨人
- ・Bleach
- ・セーラームーン（子ども向け）
- ・スタジオジブリ全般
- ・Your name（映画「君の名は」）

◇食事

- ・寿司・天ぷら・刺身
- ・しゃぶしゃぶ・焼肉・ラーメン
- ・すき焼き・焼き鳥・から揚げ
- ・お好み焼き・牛丼



[http://www.takii.co.jp/info/news\\_160211.html](http://www.takii.co.jp/info/news_160211.html)

### フェアトレードについて！

●フェアトレードとは？

→開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い

生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易の仕組み」。

●販売元によって値段が変わる

・値段の差（1g 当たり）

ピープルツリー・・・約7.56円

イオン・・・約2.42円

森永・・・約5.39円

キャドバリー・・・約4.00円

いずれの商品にも

「フェアトレード・ラベル・ジャパン」の

認証マークがついているにも関わらず

値段の差が激しい

・主な要因

1. 取引の仕方の違い
2. 会社の考え方の違い

④ ファシリテーター養成講座

日時 2016年6月24日（金）60分

講師 株式会社 メディア総合研究所 福田 訓久氏

目的 ユネスコスクール校内有志生徒に対し、フループプロセスを適切に観察できるファシリテーターを養成し、集団のリーダーとなりえる人材を育成するため。

⑤千葉県ユネスコスクール連絡協議会の開催（千葉大学（SGU:スーパーグローバルユニバーシティ）との連携）

□ 日 程

第一回連絡協議会	平成 28 年 6 月 15 日（水）高・特支
千葉大学ユネスコ研究会◎	平成 28 年 8 月 22 日（月）
千葉大学 ESD 連絡会・フォーラム◎	
	平成 28 年 10 月 10 日（月）
第二回連絡協議会	平成 28 年 11 月 16 日（水）幼・小・中・高・特支
第三回連絡協議会	平成 29 年 2 月 18 日（土）
千葉大学 SGH 成果報告会◎	同日

（千葉大学事業との共同（◎））

目的 生徒の交流を重視しながら教員同士で各校の活動の情報を共有する。

成果・県内高校や異校種との連携することができた。

- ・学校の枠を超えて生徒・職員同士のコミュニティができた。
- ・生徒がファシリテーターとして話し合いをする機会を持つことができた。
- ・各校の職員と各校の取り組みについて学ぶことができた。

□その他

①インターンシップ（職業体験）

日時 平成 28 年 6 月～10 月

派遣先 ①生命医療の世界

A 放射線医学研究所 B 東京歯科大学水道橋キャンパス

②司法の世界 A 千葉弁護士会 B 千葉地検 C 千葉地裁

③幼稚園研修 市内 2 つの幼稚園にて 3 日間の実習

内容 現地での実習に加えて事前・事後レポートを作成する。

派遣人数 ①理系研究関係 20 名②法曹関係 20 名③幼稚園 10 名

②開かれた学校づくり委員会

日時 ①平成 28 年 6 月 17 日（金）②10 月 21 日（金）③平成 29 年 1 月 19 日（木）

目的 PTA、同窓会、地域自治会長、近隣学校との交流、情報交換、学校評価

③職員校内研修 6 月 2 日（木）「18 歳選挙権に伴う高校生の政治教育について」

④生徒研修・職員「携帯・ネット安全教室」 研修いじめ防止対策委員会

日時 平成 28 年 10 月 5 日（水）

講師 株式会社 DNA 浅川美保氏

内容 高校生としてネットや SNS を使用する際に気をつけるべきこと。

⑤キャリア教育講座「せんせいっていいもんだ」

日時 平成 28 年 10 月 6 日（木）

講師 千葉県教育庁教職員課任用室 神澤 賢管理主事

千葉市立小仲台小学校 八田 瑞紀先生

内容 教職の魅力や千葉県の教員採用の状況について情報提供し、進路選択の一助となるようにする。

## ⑥ オープンスクール

日時 平成 28 年 10 月 21 日（金）2～6 限

来訪者 保護者や塾関係者、地域関係者、学校関係者の計 47 名

## ⑦ 千葉大学との連携

- ・ 千葉大学教育学部基礎教養講座

千葉大学教育学部の教員によるのべ 14 回の出張講義。

- ・ High School on Campus (HOC) への参加

千葉大学との高大連携授業では、様々なプログラムが用意されていますが、本校の生徒はフランス語、スペイン語、ドイツ語等、他国の言語や文化を学びながら自国の理解にも役立てています。

- ・ 千葉大学 ESD ワークショップへの参加

8 月 音楽部生徒と、千葉大学への ASESN 留学生との小鼓演奏を通じての音楽による交流。

## ⑧ 地域、介護施設、近隣保育所との交流

七夕交流会、合同防災訓練、文化祭への招待、鈴虫交流会、クリスマス交流会、保育実習、障害者施設の行事への参加（JRC）

## ⑨ 理数教育の充実

- ・ 千葉サイエンススクールネット参加

- ・ 中高生の科学研究実践活動推進プログラム参加（東雲研究会、JST 事業）

## □ 国際理解・国際交流

### ① 有識者講演

日時 平成 28 年 4 月 9 日（土）

対象 1 年生 366 名

講演者 駐ニカラグア特命全権大使 今井 泰志（いまい やすし）氏

テーマ 「国際人としての学び」

内容 ニカラグアと日本との国交、国際人としての在り方

### ② 国際理解教育講演会（グローバル人材プロジェクト）

日時 平成 28 年 10 月 28 日（木）

対象 1 年生 366 名

講演者 千葉銀行 地域創生部長 遠山宏幸（とおやま ひろゆき）氏

テーマ 「国際社会で働くために」

内容 国際社会で活躍するには何が求められるのか

### ③ 「アジアを知ろう！」アジア経済研究所開発スクール研修生授業実施

（千葉県総合企画部国際課 幕張アジアアカデミー・アジア総合学科事業の一環）

日時 平成 28 年 11 月 7 日（月）

対象 本校 1 学年生徒

講師 4 名の留学生のゲストティーチャー

目的 各国の紹介を聞くことでその国を正しく理解し、視野を広げる。  
英語学習の動機付け。

内容 コミュニケーション英語Ⅰ授業内にて各国の政治経済文化習慣を紹介、事前事後指導。

④ 千葉大学留学生とのグループ別交流会（グローバル人材プロジェクト）

日時 平成28年12月15日（木）

対象 本校希望生徒約60名、県立千葉、千葉女子、柏井高校より希望生徒数名

講師 フィリピン、ブラジル、ケニア、モロッコからの4名の留学生

目的 異文化理解、体験

⑤ 福島県ブリティッシュヒルズ英国擬似体験プログラム

日時 平成28年12月22日（木）～24日（土）

参加人数 本校生徒45名、引率教員2名

⑥ 台湾「和平高級中学」高校生との交流

日時 平成29年2月22日（火）

対象 台湾生徒32名、本校希望生徒約60名

内容 本校生徒が日本文化等についてのプレゼンテーションを行い、交流する。

目的 異文化理解、体験

⑦ 米国クラークストン高校生徒のホームステイ受け入れ

日時 平成28年7月3日（日）～10日（日）

目的 隔年で来訪する米国ミシガン州クラークストン高校からの短期研修の受け入れを行い、希望生徒宅にてホームステイや、東京観光を行った。

⑧ 米豪高校交流プログラム

日時 米国 平成29年3月16日（木）～27日（月）11泊

豪州 平成29年3月16日（木）～25日（土）9泊

派遣先 米国 ニューヨーク及びミシガン州クラークストン

豪州 シドニー及びニューサウスウェールズ

目的 コミュニケーション能力の育成、現地校との交流活動、異文化理解

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）